

今月のコンテンツ

- 北海道社会医学系専門医研修プログラムからのご報告
- ながの社会医学系専門医研修プログラムからのご報告
- 今月のお知らせ
- (広報担当) 夏の情景

研修プログラムからのご報告

北海道社会医学系専門医研修プログラム

北海道社会医学系専門医研修プログラム統括責任者
 (北海道保健福祉部技監)

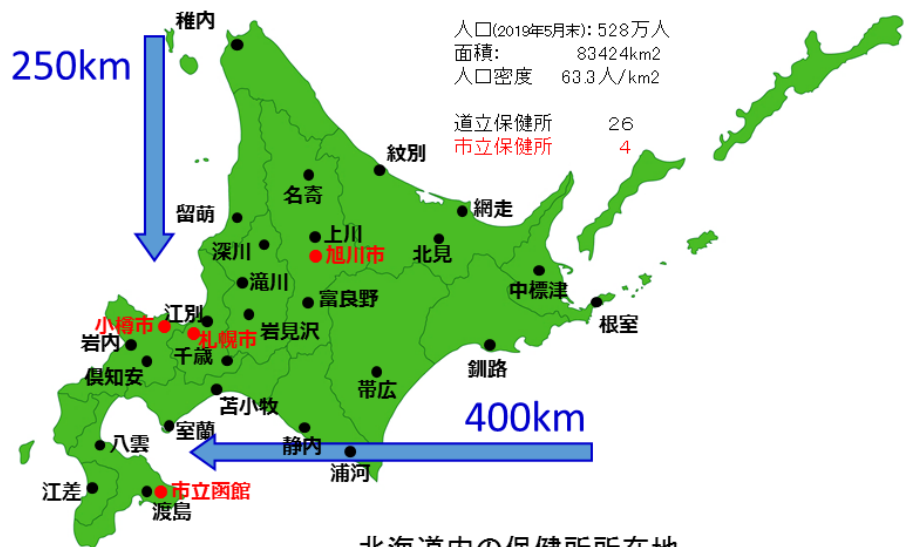
竹内 徳男



1 広大で自然豊かな北海道で活躍する公衆衛生医師

北海道は、知床世界遺産を始め広大で豊かな自然の宝庫で、ここでしか見られない多様な動植物にも巡り会い、最近では、札幌市内の住宅地や公園でもヒグマが目撃されています。また、恵まれた海や山の幸が惜しげもなく盛られた食を堪能でき、寒さの厳しい冬には、神秘的なダイヤモンドダストや良質なパウダースノーにも身近で触れられます。平成 29 年度には道外から 586 万人、海外から 279 万人もの観光客に来道していただける憧れの大地となっています。

この一番のウリともいえる広大な大地ですが、その大きさは半端なく、面積の小さい香川県から愛媛県までの 22 都府県分もあり、医療資源等が集まる都市部へのアクセスが困難となる地域等、広域分散が本道特有の重点課題につながって



北海道内の保健所所在地

います。

人口も全国で8番目に多く、約530万人が北海道で暮らしていますが、その半数近くが札幌市、旭川市、函館市の3市に集中しているため、他の176市町村では、約7割が人口1万人未満となっています。

当然、医療資源も都市部に多く偏在しているため、最北の地方都市である稚内市で結核排菌患者が発生した場合には結核病床のある旭川市まで250kmの道のりを患者搬送しなければなりません。このように、何でも想像を絶するスケールの対応が必要となるのが北海道の特徴といえます（最東端の根室市から札幌市までは400km以上あり東京駅から京都駅までの距離に相当）。

この雄大な北海道の公衆衛生向上をめざして、多くの医師が、保健所等の「行政」、医育大学等の「教育・研究機関」、「医療現場」、産業保健機関等の「職域」において、日々社会医学活動に奮闘しています。

しかしながら、他自治体と同様、北海道も公衆衛生医師の確保には大変苦勞しており、保健所長等の欠員をなかなか埋められず、道立の保健所では現在も9カ所で所長が兼務となっています。

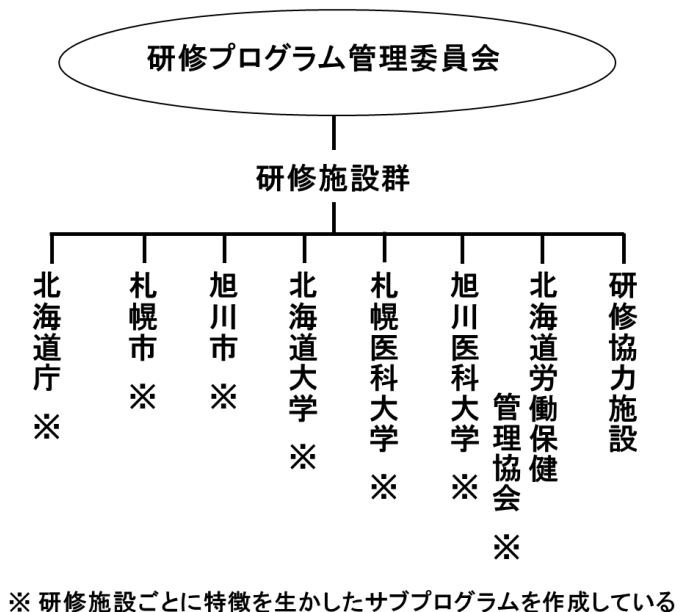
2 北海道に合った社会医学系専門医の養成体制

全国で社会医学系専門医制度の準備が進む中、北海道においても2016年頃より、保健所長や本庁関係課を中心に専門医についての議論が深まり、資質向上の視点、さらには人材確保の視点から専門医資格取得のための体制整備の必要性が確認され、2017年度からは、北海道庁、保健所設置市、医育大学等の関係者による準備会を設置し、2018年4月より社会医学系専門医研修を開始しました。

広大で社会資源が偏在する北海道において、多様な領域を経験し幅広い知識や技術を系統的に修得することは容易ではなく、いずれの地域、分野、実践現場に所属していたとしても、高い専門性を備えた社会医学系専門医を養成するためには、道内関係機関の協働した取組が不可欠でした。

そこで北海道では、道内の限られた資源を総動員し、有効に活用し、効果的な専門研修を行えるよう、行政機関単独のプログラムとはせずに、医育大学や産業衛生関連機関も含めた社会医学に関係する団体が一丸となった研修プログラム管理委員会を設置し、全道統一のメインプログラムである「北海道社会医学系専門医研修プログラム」を作成し、研修施設ごとの特徴ある研修内容については各機関がサブプログラムを作成しました。この2階建て体制のもと、道内の研修施設群は相互に連携・協力して研修

北海道社会医学系専門医研修プログラム



を行い、専攻医は、所属施設だけでなく多様な研修施設において必要な研修を円滑に受けられます。

3 専攻医の確保に向けて

研修開始から1年が過ぎ、本年7月現在、5名の専攻医（行政4名、産業衛生1名）が北海道で専門研修に励んでいます。公衆衛生医師はまだ足りていません。

そこで、北海道のプログラム管理委員会では、専門医研修の管理にとどまらず、専攻医確保に向けた検討も行っています。その一環として、今年度から委員会メンバー等による実行委員会を立ち上げ、8月には、新たに「公衆衛生北海道サマーセミナー」を開催することとしました。

この取組は、全国保健所長会の「公衆衛生サマーセミナー」をモデルに北海道の地域特性に沿った内容で行うもので、現役公衆衛生医師とともにケースメソッドやグループワークを通して公衆衛生活動の魅力伝え、医学生や研修医等に公衆衛生医師を身近に感じてもらう場にしたいと考えています。

この原稿の執筆時点（7月中旬）において、既にセミナー申込みや問合せが数多くあり、公衆衛生に関心を抱く医学生や医師が結構多くいることを感じます。将来、一人でも多く公衆衛生医師となってもらえるよう願いつつ、関係者一同準備に励んでいる最中です。



Public Health Summer Seminar Hokkaido 2019
 北海道の公衆衛生活動に興味のある 医学生・若手医師 のみなさんへ

**公衆衛生
 北海道サマーセミナー
 2019 開催のご案内**

現役公衆衛生医師による経験感のあるケースメソッドやグループワークを通じ、普段見ることのない行政や地域保健の現場の生の声に聴かれながら、ダイナミックな公衆衛生活動の魅力を体験していただきます。参加者同士の横のつながりができ、新たな機軸案につながることも。

開催日
**令和元年
 8月17日(土)**
 10:00～17:30(終了後意見交換会)

対象
 地域の公衆衛生活動に興味をお持ちの医学生、研修医など(年齢・経験不問)

参加費
 令和元年6月中旬頃から募集開始(締め切り:令和元年8月9日(金)まで)
 北海道の10市10区にて、研修医2名/地区が参加予定です。

プログラム
 ● 地域保健の魅力体験
 ● 保健所活動における感染症管理
 ● 講演会(日本産科婦人学会、全人型医療に力づく)
 ● 公衆衛生分野の人材育成・キャリアパス
 ● 保健所現場からのメッセージ

無料

会場
札幌医科大学
 基礎医学研究棟5階 共通会議室
 北海道札幌市中央区南一条西5丁目1
 ・公共交通機関「南一条西5丁目」駅(徒歩約5分)
 ・西野道(徒歩約10分)から徒歩約5分

北海道 札幌市 北海道保健所長会
 札幌医科大学 北海道大学 旭川医科大学
 PHSS Hokkaido 実行委員会事務局
 札幌医科大学 基礎医学研究棟5階 共通会議室
 〒060-0814 札幌市中央区南一条西5丁目1
 TEL 011-831-1111 FAX 011-831-1112
 E-MAIL phss@phss-hokkaido.jp

研修プログラムからのご報告

ながの社会医学系専門医研修プログラム

ながの社会医学系専門医研修プログラム統括責任者
 (信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室教授)

野見山 哲生



長野県における社会医学系の医師は、県内唯一の医師養成機関である信州大学医学部において衛生学公衆衛生学教室と関連の産業衛生学講座、小児県境保健疫学研究センター等に所属する医師、長野県庁及び10の二次医療圏にある保健福祉事務所、精神保健センターと中核市に移行した長野市に所属する医師と2020年に移行予定の松本市に出向している医師、各種健康診断実施機関に所属する医師、セイコ

ーエプソン株式会社等に勤務する専属産業医、救急医療、地域医療の現場で社会医学活動を担う医師、本学を含めた医療機関の医療情報に携わる医師などです。これらのうち、社会医学系専門医制度で登録された指導医、専門医はそれぞれ 24 名、3 名です。そして、ながの社会医学系専門医研修プログラムは以上の領域に対応したプログラムを構成しています。

本プログラムは、教育・研究機関を中心とする「信州大学コース」（基幹施設：信州大学医学部）と行政機関を中心とする「長野県行政コース」（基幹施設：長野県健康福祉部）を設置しています。両コースは、相互に連携して研修プログラムを実施することになり、様々な実践現場での公衆衛生学をはじめとする社会医学全般の経験が可能となります。

「信州大学コース」は A、B の 2 コースを設けています。A コースは信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室等の大学教職員あるいは大学院生と企業の産業医、検診機関医師等を対象に、主分野は産業・環境、副分野は行政・地域、医療としており、教育・研究者、産業医をしているか目指す医師を念頭においています。B コースは信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室等に大学教職員あるいは大学院生を対象に、主分野を行政・地域、副分野を産業・環境、医療とし、A コース以外の衛生学、公衆衛生学の領域の教育・研究者、実践者をしているか目指す医師を念頭においています。両コースとも、基幹施設である信州大学において、研究・教育活動等を通じて、課題解決のプロセスについての理論と方法論の研修をおこない、信州大学医学部附属病院、セイコーエプソン株式会社、長野県産業保健総合支援センター、長野県環境保全研究所や各保健福祉事務所等が研修連携施設、研修協力機関において実践経験を積み、諸課題の解決能力の育成を行います。また、職域において従業員の健康を確保、向上に寄与する産業医として、今後のキャリアを進めて行く医師の理論的、方法論の研修を基幹施設の信州大学を中心として、セイコーエプソン株式会社を始めとした連携施設での実習を通して経験、研修していきます。

「長野県行政コース」では、行政医師として各保健福祉事務所（保健所）あるいは県庁に所属し、地域保健医療行政に従事する医師を対象に、主分野：行政・地域、副分野は産業・環境、医療としています。所属先が保健所であれば所内各業務への従事、県庁であれば各自の所属が所管する各分野の事業の企画調整等業務への従事を通じてそれぞれ研修を行います。さらに、将来的には保健所長など地域保健医療行政のリーダーとして活動できる医師を目指して、業務の中で組織のマネジメントなどについても経験していきます。その他研修連携施設、研修協力施設も充実し、研修をサポートする仕組みができています。

長野県は、社会医学領域のうち公衆衛生領域は、以前より信州大学と行政、産業現場のやり取りが盛んに行われてきています。2006 年、信州公衆衛生学会が設立され、社会医学系の医師、保健師、栄養士、歯科医などが、職種別、所属別に年に 1 回の学術総会を開催し、更に年 2 号の信州公衆衛生雑誌は 2019 年には Vol.14 No.1 を発刊するに至っています。この基礎に立ち、今回の社会医学系専門医研修プログラムが、社会医学系医師の養成のプログラムをよりシステマティックにすることになったと考えており、今後もプログラムの充実に一層力を入れたいと考えています。また、現在 5 名（信州大学コース 3 名、長野県行政コース 2 名）いる専攻医を大切に育成し、今後も更に育成に努めたいと考えています。

今月のお知らせ

事務局の移転について

社会医学系専門医協会の事務局は、令和元年7月1日から下記のとおりに移転いたします。

運営事務局名：一般社団法人 学会支援機構

住 所：〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4階

連絡先 :Mail : senmonshakai-officeumin.ac.jp (変更はありません) / FAX : 03-5981-6012

今後ともよろしくお願ひいたします。

2020年度経過措置指導医の申請について (E-ラーニング使用申込について)

2020年度経過措置指導医の申請受付時期は2019年11月を予定しております。

そこで、経過措置指導医の申請を予定されている方で、E-ラーニングでの基本プログラムの受講が必要な方に対し、「E-ラーニング使用申込」を受付いたします。

○基本プログラムについては下記の資料を社会医学系専門医協会 WEB で確認してください。

- ・ 経過措置指導医申請における基本プログラムの受講確認について
- ・ 基本プログラム受講確認一覧
- ・ 基本プログラム (E-ラーニングシステム) 受講レポート

<E-ラーニング使用申込>

申請方法：E-ラーニング使用申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、郵送にて社会医学系専門医協会事務局までお送りください。

- ・ E-ラーニング使用申込書 (Word ファイル) (←社会医学系専門医協会 WEB でご確認ください)

申請締切：2019年10月末 必着

申込料：10,000円 (下記口座へお振り込みください)

※11月受付の2020年度経過措置指導医の申請時の申請料は免除されます。

通知：申込より1ヶ月程度で郵送にて経過措置指導医の申請料免除券をお送りします。

その後、別途、社会医学系 eラーニング・コンソーシアム事務局から、ID、パスワードが通知されます。

その他：大学院や国立保健医療科学院等で基本プログラムの科目を受講された方は、基本プログラムの全部または一部をみなすことが出来ます。詳細については、「基本プログラムにおける大学院・国立保健医療科学院等の過程及び提供科目の扱いについて」の審査結果について、をご確認ください。

※現在、社会医学系指導医、専門医、専攻医に登録されている方には、すでに社会医学系eラーニング・コンソーシアム事務局から、ID、パスワードが通知されておりますので、こちらの申請は必要ありません。

送付先：〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4F
 一般社団法人 社会医学系専門医協会事務局
 「E-ラーニング使用申込」係 宛

振込先：郵便振替

口座記号番号：00120-9-696959

口座名義：一般社団法人 社会医学系専門医協会

口座名義カナ：イッパンシャダンホウジン シャカイイガクケイセンモンイキョウカイ

※振込元の名義は、個人名での振込としてください。

夏の情景（広報担当より）

業務執行理事
 川崎医科大学衛生学
 日本衛生学会
 大槻剛巳



社会医学系専門医協会の活動と直接リンクする訳ではないのですが、去る7月13日に、日本衛生学会では理事会を開きました。場所は、慈恵医科大学の会議室でした。そして、その午後「フォーラム・予防

フォーラム 予防医学/社会医学系の将来像

	AMED	
		<ul style="list-style-type: none"> ・日本医学会連合・社会部会 ・日本衛生学会 ・日本産業衛生学会 ・日本公衆衛生学会 ・日本疫学会
14:30~15:00	経緯説明（大槻） 医学会連合の立場として（岸先生） 日本産業衛生学会からの提言（川上先生） 日本公衆衛生学会からの提言（磯先生）	
15:00-15:25	グローバルデータシェアリングによる医学・医療の問題解決 AMED 末松誠理事長	
15:25-15:35	補足説明（各論） AMED 泉 統括	
15:35-16:40	末松理事長との質疑及びディスカッション	
16:40-17:00	まとめ、閉会	

医学/社会医学系の将来像」を、東京大学教育研究棟のセミナールームで開催いたしました。ボランティアで集まって頂く会でしたが、日本公衆衛生学会、日本疫学会、日本産業衛生学会および日本衛生学会からは理事会から、多くの理事の方に、理事会から移動して頂きました。なんだか、行きがかり上、大槻が取りまとめ役になってしまっ！末松 AMED 理事長、泉 AMED 統括からもご講演を頂戴しました。

日本公衆衛生学会・磯理事長、日本疫学会・祖父江理事長、日本産業衛生学会・川上理事長、日本医学会

連合社会部会から、岸先生（+遠山先生、大江先生、秋葉先生、荻田先生）、さらに、日本衛生学会は理

事会から多くの先生が入って下って、そして、4学会の理事（日本疫学会は若手からも）の先生方が、40名以上、集まって頂いて、AMEDからも他に3名の先生～そして、フリーストックタイムを多く設定したのですが、種々のご意見が、多く、尽きる事なく出てきて、よい会になりました。折角、東京大学の本郷キャンパスにお邪魔したので、赤門の写真も紹介させていただきます。

そして、8月4日、大槻は夏の情景を捜して、岡山県北へ。備中地域の北部には、カルスト台地が広がっていて鍾乳洞もあります。今回は、朝から猛暑日になっていましたので、涼を求めるには最適です。新見市の「満奇洞（まきどう）」に行ってきました。この名は、与謝野晶子・鉄幹夫妻が訪れた時に「奇に満ちた洞」と詠んだことからといわれているそうです。そして、映画「八つ墓村」（1977年公開で、名優・渥美清氏が金田一耕助を演じた作品～石坂浩二氏のものとは異なります）のロケ地としても使われたのです。

さらに、旭川の上流、支流である新庄川の渓谷には水の音、青い夏空、そして緑の木々の中で、東の間の休息でした。ここも国道を挟んだ向かい側には「神代（こうじろ：地名）の鬼の穴」と呼ばれる鍾乳洞もありました（そちらには、寄りませんでした）。さらに



は、その後、蒜山高原の道の駅でヤマメのまるかじりも、トウモロコシも、シュークリームも……。夏を食べすぎでした。

さて、今月は、第1回目の社会医学系専門医協会の試験日もあります。暑い八月になりそうですし、台風も襲来してくるようですが、受験される医師の皆さんの熱気だけは天候に負けずに、是非、頑張ってください。

